

平成26年度

行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書

(平成25年度対象)

行橋市教育委員会
教育委員長 蛭崎 隆男

目次

教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要	1
行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅠ	2
行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅡ	4
行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ	6
行橋市教育委員会外部評価委員会の意見	16
平成26年度 評価経過	20
行橋市教育委員会外部評価委員名簿	21
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	21
行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する規則	22
行橋市教育委員会外部評価委員会の設置に関する規則	24

行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要

1 教育委員会評価について

教育委員会は、首長から独立した合議制の組織であり、同委員会が自ら立てた教育行政の基本方針に基づき、教育に係る広範かつ専門的な事務が確実に実施され、かつ充実を図ることが求められています。

平成20年4月から施行された『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』の一部改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

本市教育委員会におきましても、市教育委員会事務局に「教育委員会評価検討委員会」を設置し、その評価対象や評価方法等について議論を重ね、システムを決定し、各課・室において教育委員会評価のための資料整理を行い、行橋市教育委員会において自己評価を行いました。その後、学識経験を有する方を委員とする「行橋市教育委員会外部評価委員会」を設置し、評価及び意見をいただきました。これらを基に、「行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」としてまとめました。評価の概要等については、以下のとおりです。

2 評価の対象

評価の対象は、平成25年度中の教育委員会としての活動及び事務執行分です。

また、評価項目は、平成25年度行橋市教育行政方針に基づき実施した事務事業や取り組みを対象に、各担当課の事業を踏まえて設定し、「Ⅰ 教育委員の活動」、「Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事務」、「Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について行いました。

3 外部評価の概要

平成25年度の評価については、行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の全体的な意見を「行橋市教育委員会外部評価委員会の意見」として掲載しています。

4 評価の詳細 別紙、各シートのとおり

(評価方法)

各シート毎に「評価項目」を設定し、各項目に対する点検・評価を「充実度」及び「実現度」の視点から4段階による評価を行いました。また、各シート中の「外部評価委員意見」欄の空欄については、外部評価委員の意見が、自己点検・評価と同様であり、「点検・評価が妥当」であるとの意見を示します。

「充実度」、「実現度」において、「4」は「順調に達成している」(達成率100～80%)、「3」は「おおむね順調に達成している」(達成率79～50%)、「2」は「一部困難な問題点(課題)がある」(達成率49～20%)、「1」は「困難な問題点(課題)がある」(達成率19～0%)という評価を示します。

また、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価表について、「○」は、自己評価を「●」は外部評価委員会の評価を示し、「○」のみの標記は、両者同意見であることを示します。

※評価不可能な評価項目については、斜線で表記しました。

5 評価対象期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シート I

I 教育委員の活動

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																				
項目	指標	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び 必要な取組	実現度・充実度																					
(1) 教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	学校における現状への問題や協議事項に対する意見等の議論がされており、必要に応じて臨時会を開催し教育行政の円滑な遂行に努めた。今年度は、行橋市教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回計12回、臨時会を2回を開催した。	今後、臨時会を必要に応じて随時開催することで、充実を図っていききたい。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1					教育委員会会議の中で、各委員が出席した行事等の報告を行っているとのことであるが、学校行事等の報告・意見については、学校にフィードバックし、今後の改善に繋げるべきだと考える。
	4				○																				
3																									
2																									
1																									
②教育委員会会議の運営上の工夫	審議が充実するように、教育委員会資料について事前配布・要点説明を行った。教育委員が出席した行事等の報告を行い、委員全員の共通理解を図った。また、委員は教育委員会所管の各種委員会等に所属し、委員それぞれの経験や立場を生かした発言を行った。 また、11月には岡山市へ視察に行き「地域協働学校」について研修を行い、12月には「今後の地方教育行政のあり方」について学習会を行うなどして、見識を深めた。	今後も、社会情勢の変化や市民の教育ニーズを踏まえ、審議の工夫を図っていききたい。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1						
4				○																					
3																									
2																									
1																									
(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	○会議録の公開、広報活動の状況	会議録の概要、開催日程について、毎月HPへ掲載した。 また、平成25年10月の市報において、毎月教育委員会定例会を開催している旨のお知らせを掲載し、市民へ周知を図った。 なお、会議録については、内容の充実を図るため、速記業務の委託費を平成26年度予算に計上した。	さらに住民の理解と関心を深めるよう、HPに掲載している会議録の公開内容の充実を努めていく。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4			○		3					2					1					会議録の充実に向けての取組みがなされたことは評価できる。
4			○																						
3																									
2																									
1																									
(3) 教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	委員会会議で議論を深めるため、教育施策や課題などの情報や資料提供を随時行った。 また、各行事、研修等の開催内容の連絡、結果報告も、お互いに日常的に行った。	委員への情報提供や各行事等の開催案内など連絡調整を密に行い、引き続き、相互連携を図っていく。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1					
4				○																					
3																									
2																									
1																									
(4) 教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	各教育委員と首長との意見交換は、各行事等の機会を通じて随時行った。また、教育長と首長は、政策等について毎月定例会議で意見交換を行った。 教育委員も、首長との意見交換会を実施し、教育施策について活発な議論を交わした。	今後も、綿密な連携を図っていく。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1					
4				○																					
3																									
2																									
1																									
(5) 教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	○県主催の研修に参加（3回） ○教職員全体研修、家庭教育研修会、PTA研修会に参加。 ○女性教育委員研修への参加（2回） ○九州地区市町村教育委員研修大会（鹿児島市）に参加 ○視察研修（1回） 平成25年11月22日、岡山市教育委員会を訪れ「地域協働学校」について視察研修を行った。	これからも、お互いの専門性を活かしつつ、多様な教育課題に対応できる教育委員として、研修の充実を図っていく。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1					
4				○																					
3																									
2																									
1																									

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シート I

I 教育委員の活動

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																				
項目	指標	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び 必要な取組	実現度・充実度																					
(6) 学校及び教育施設に対する 支援・条件整備	①学校訪問	前期訪問、後期訪問、研究発表により全17校を訪問した。学校施設等の学習環境の確認を行い、条件整備に努めた。 運動会により全17校を訪問した。 幼稚園の園長会議を開催し、教育長が各園長と意見交換を行った。	今後も、各学校ごとの課題を把握し、教育委員会の基本方針や教育施策に反映させていく。	実現度↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1					
	4				○																				
3																									
2																									
1																									
	②所管施設の訪問	○福原長者原遺跡 ○行橋市歴史資料館、図書館 ○行橋市中央公民館（市美術展） ○馬ヶ岳城跡 ○守田養洲旧居 ○防災食育センター	現場の状況、課題を把握した上で、教育委員会の基本方針や教育施策に反映させていく。	実現度↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →充実度	4				○	3					2					1					
4				○																					
3																									
2																									
1																									

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅡ

Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事務

評価項目	指標	点検・評価	外部評価																									
(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		<p>平成25年度行橋市教育行政方針、行橋市教育改革の重点施策について、前年度の教育委員会評価の結果を踏まえ協議を行い、策定した。 さらに、上記の重点施策等に加え、教育行政組織や予算、所管施設、その他資料を盛り込んだ「教育要覧」を発刊した。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1" data-bbox="2181 367 2404 535"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1						1	2	3	4
4				○																								
3																												
2																												
1																												
	1	2	3	4																								
(2) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること		<ul style="list-style-type: none"> ○行橋市学校給食物資選定委員会規則 ○行橋市給食センター献立委員会規則 ○行橋市学校給食食物アレルギー対応検討委員会規則 ○行橋市学校給食食物アレルギー対応検討委員会設置要綱を廃止する告示 ○行橋市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則 ○指定学校変更取扱規則の一部を改正する規則 ○行橋市立小学校小規模特認校の取扱いに関する要綱 ○行橋市複合文化施設条例施行規則の一部を改正する規則 ○行橋市防災食育センター管理運営規則 ○守田蓑洲旧居条例施行規則 <p>以上10件。必要に応じて規則等の制定、改廃を行った。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1" data-bbox="2181 598 2404 766"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1						1	2	3	4
4				○																								
3																												
2																												
1																												
	1	2	3	4																								
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		<ul style="list-style-type: none"> ○9月補正予算 ○12月補正予算 ○3月補正予算 ○平成24年度決算 ○平成26年度当初予算 ○教育委員会外部評価に関すること ○条例の原案に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・行橋市学校給食費条例 ・行橋総合公園オートキャンプ場条例の一部を改正する条例 ・行橋市研修センター条例の一部を改正する条例 ・行橋市公民館条例の一部を改正する条例 ・行橋市体育施設条例の一部を改正する条例 ・行橋市複合文化施設条例の一部を改正する条例 ・行橋市防災食育センター設置条例 ・守田蓑洲旧居条例 ・京築広域市町村圏事務組合理約の一部を改正する規約 ○財産の取得又は財産処分に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・行橋市給食センター建設に伴う設備品の取得について ・京築広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分 	<p>実現度↑</p> <table border="1" data-bbox="2181 1018 2404 1186"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1						1	2	3	4
4				○																								
3																												
2																												
1																												
	1	2	3	4																								
(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること		<p>新たな設置又は廃止はなかった。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1" data-bbox="2181 1726 2404 1894"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4					3					2					1						1	2	3	4
4																												
3																												
2																												
1																												
	1	2	3	4																								

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅡ

Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事務

評価項目	指標	点検・評価	外部評価
(5) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関する事		教職員人事に際し、学校長の具申を受け、勤務年数、実績、適正配置等を勘案し、京築教育事務所に内申を行った。	
(6) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事		○行橋市公民館運営審議会委員 ○行橋市図書館協議会委員 上記の任命等を審議した。	
(7) 教科用図書の採択の決定に関する事		教科用図書の採択に関する事項はなかった。	
(8) 通学区域を設定し、又は変更すること		平成26年4月1日から養島小学校の小規模特認校制度が導入されることに伴い、養島小学校の通学区域に「市内全域」の追加を行った。 平成25年10月24日の定例教育委員会により審議、決定した。	
(9) 文化財を指定し、又は指定を解除すること		稗田校区の馬ヶ岳城跡（史跡）ならびに椿市校区の入覚念仏楽（無形民俗文化財）を文化財として指定した。	
(10) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関する事		請願等はなかった。	

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																					
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																						
1 学校教育における重点施策	(1) 確かな学力と豊かな人間性の育成を目指す学校教育の推進	9年間を見通した小中一貫教育の推進	小中一貫教育の推進 中学校教員による出前授業や学校行事への相互参加等に加え、小中一貫教育の学習面の柱となる「郷土科」「コミュニケーション科」を開始し、スタンダード版に基づいた各学校の取組が行われた。 また、小中一貫教育の在り方を協議している行橋市教育推進協議会において、「郷土科」「コミュニケーション科」の実践発表を通して今後の小中一貫教育の在り方について協議を深めることができた。	スタンダード版（改良版）と各学校の実践集を作成・配布し、全小中学校で、内容の共有・内容の充実を図っていくとともに、評価を検討していく必要がある。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1					
	4				○																					
	3																									
	2																									
1																										
	保幼小中の連携で基本的な生活習慣の育成	保・幼・小・中連絡協議会 幼稚園園長会議	小学校単位での保幼小連絡会及び中学校単位での小中連絡会は、小中学校が中心となり実施されている。また、本年度は教育委員会主催による保・幼・小連絡協議会を3月に実施した。 幼稚園園長会議については、年度当初に実施し、就園奨励費、施設整備及び発達障害に係る巡回相談等について協議を深めることができた。	特別支援教育巡回相談事業の充実により、円滑な小学校への接続に努める。保・幼・小を見通して、幼児・児童の課題等を共有するための、保・幼・小連絡協議会を開催する。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1					教育委員会主催の保・幼・小連絡協議会が実施できており、取組みの充実が図られている。更なる充実に期待する。
4				○																						
3																										
2																										
1																										
	きめ細やかな指導の充実で学力の向上	学力実態調査事業	平成24年度より、毎年2月に、全国学力・学習状況調査における実施教科に合わせ、国語・算数（数学）・理科の3教科を小学校4年生及び中学校2年生を対象に実施している。その結果については、3月に学校票及び個人票として学校及び個人に還元し、次年度の学校での指導方法工夫改善及び家庭学習の内容充実生かしている。	調査の結果を十分活用し、各学校と連携し、学力向上に努める。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4			○		3					2					1					
4			○																							
3																										
2																										
1																										
	心の専門家の配置や児童生徒相談センターの充実	専門相談員支援制度	適応指導教室に通う児童生徒（保護者）を対象に、専門相談員（臨床心理士）が月1回、カウンセリングを行っている。定期的なカウンセリングにより、心の安定やエネルギーを蓄えることが図られ、学校復帰や進学に向けての意欲を持つことができた。	発達障害が要因で不登校に陥るケースも見られるので、発達障害の面からの支援を行っていく必要がある。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1					
4				○																						
3																										
2																										
1																										

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																	
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																		
1 学校教育における重点施策	(1) 確かな学力と豊かな人間性の育成を目指す学校教育の推進	心の専門家の配置や児童生徒相談センターの充実	児童生徒相談センター事業 児童生徒相談センターにおいては、児童生徒、保護者及び教員等の相談活動を常時実施しており、様々な問題に対処し、必要に応じて関係機関と連携を図ることができた。過去3年間の相談件数は、平成23年度336件、24年度409件、25年度456件である。 また、不登校及び生徒指導上の諸問題を把握するために、月初めに全小中学校を訪問している。	不登校の発生率は国・県を上回っており、本市の大きな課題である。不登校の予防、早期発見・早期対応を中心に、小中学校への指導助言の充実を図り、不登校の改善・減少に努める。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○														
			○																			
	読書活動の推進で心豊かな子どもの育成	読書活動の推進	行橋市第1次子ども読書活動推進計画に基づき、読書活動・読書ボランティアによる読み聞かせや全校読書等、各学校において工夫した取組みを行っている。 また、第1次子ども読書活動推進計画の取組みの成果と課題に基づき、学識経験者を含む策定委員と協議を重ね、第2次子ども読書活動推進計画を3月に策定した。	第2次子ども読書活動推進計画に基づき、5年次計画で、取組みを具体化していく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○														
		○																				
	(2) 個別の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	特別支援教育推進体制作り	特別支援教育の推進	平成25年度より特別支援教育アドバイザーを嘱託職員として雇用している。学校のニーズに応じた派遣を行い、特別な支援を要する児童生徒へのカウンセリング及び発達検査等と通して、保護者・教職員に、家庭・学校での支援の在り方について効果的な助言を行った。	特別支援教育アドバイザーを活用し、研修を含め、特別支援学級担任の指導力向上に努めていく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○												
			○																			
		特別支援教育総合推進事業による巡回相談、幼小の連携	巡回・発達相談事業	行橋市療育支援センター職員及び福祉部子ども支援課保健師の支援を受け、市内6幼稚園の行橋市在住の年中児・年長児を対象に、年2回様相観察を行い、アセスメント及び園へのフィードバックを行い、今後の園での園児への接し方についてアドバイスをした。さらに、このデータを就学相談会や就学指導委員会、保幼小連絡会へとつなげることができ、小学校へのスムーズな移行及び適正な就学に効果をあげている。	保育園・幼稚園と小中学校の連絡会は、年度末に行われているが、保幼小からの園児についての情報伝達が不十分なことがある。今後とも本事業を推進していくことで保幼小の情報連携の充実を図っていきたい。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○													
		○																				

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価（外部評価委員）																	
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																		
1 学校教育における重点施策	(2) 個別の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	アシスタント・ティーチャーの活用による個別の教育的支援	アシスタント・ティーチャー配置事業 発達障害が疑われる児童生徒が本市においても全児童生徒の6%程度、通常学級に在籍している。このような児童生徒を支援していくために、18名のアシスタント・ティーチャーを小中学校に配置し、特別な支援を必要とする児童生徒へ個に応じた支援を行った。 なお、特別な支援を要する児童生徒数の推移は、以下のとおりである。 平成23年度 218名 平成24年度 274名 平成25年度 358名	特別な支援を要する児童・生徒は年々増加してきており、現状では配置の希望に対応できていない。引き続き、アシスタント・ティーチャーの増員を図っていききたい。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度							○										アシスタント・ティーチャーが前年度に比べ若干名減少している。財政的な面からもアシスタント・ティーチャーの増員は容易ではないと思われるが、十分な成果が出せる必要数を把握し、配置できるよう検討していただきたい。
			○																			
(3) 今日の教育的課題を解決する健康・保健・安全教育の充実	子どもの安全教育の推進	誘拐防止教室事業 児童生徒相談センター職員が行橋警察署署員と連携して小学校1年生を対象に5月～6月にかけて、不審者対応の在り方について寸劇を交えて指導した。	安全教室以後の児童の安全意識の継続化を図るために、正確な情報提供を行っていく。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○														
			○																			
	児童生徒の安全確保を図る安全マップや安全パトロール、学校安全指導員の取組の充実	学校安全指導員事業 学校安全指導員4名を11小学校に定期的（平均1校1.87日/週）に派遣し、登下校時の安全指導及び校内危険箇所の修理・点検を行った。 また、各学校の通学路の安全確認・危険箇所等の報告により、通学路の安全点検を行うことができた。	登下校時の安全指導の面から、増員（各学校1名）を検討していく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○															
		○																				
(4) 国際化や情報化社会を生きていく資質や能力を育てる教育の推進	中学生国際交流事業（グレイス・チャーチ・スクールとの国際交流）の実施	国際交流体験事業 平成25年度は、ニューヨーク市のグレイス・チャーチ・スクール訪問の年で、応募者が定員を超えたため、面接試験を実施して18名の生徒が参加した。 訪問に当たり、事前研修や事後研修を行い、充実した国際理解・異文化理解の活動となった。	グレイス・チャーチ・スクール生徒の受け入れについては、早めに募集し、国際交流の観点から、事業内容の充実を図りたい。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○														
			○																			

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																	
1 学校教育における重点施策	(5) 人間尊重の精神を育成する人権教育の推進	豊かな感性を育む人権教育の推進	人権教育の推進 行橋市人権教育啓発基本計画に則り、人権を基盤とした学校づくりを推進してきた。今元中学校区の3小中学校においては、「人権教育の系統的指導プログラム開発指定事業」を受け、人権尊重の学校づくりを推進し、その成果を発表することで、他の小中学校に広めることができた。 各種研修会等への教職員の参加奨励を図り、各小中学校において人権教育の推進を図った。	人権教育を基盤にした学校教育の充実を図るとともに、いじめ・不登校を生まないために、学校全体を通して、意識的に取組みの充実を図っていかねなければならない。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○													
			○																		
(6) 規範意識や基本的生活習慣の育成を図る家庭教育の充実	ノーテレビ・ノーゲームデーを実施し、親子の触れ合いを推進	家庭教育の推進	市P連と連携し、毎月第3月曜日を親子のコミュニケーションを図るために、ノーテレビ・ノーゲームデーと位置づけ、各学校から保護者への啓発を推進した。また、「新家庭教育宣言」の取組みの推進も図った。	平成20年の調査に比べて読書離れが進んでいる傾向が見られる。引き続き、ノーテレビ・ノーゲームデーを推進するとともに、親子で読書しふれあう「ふくおかうちどくりレー」を推奨していく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○													
		○																			
(7) 信頼される学校づくりの推進	研修を通じた教師の指導力の向上で確かな学力の向上	教職員研修事業	教職員の資質及び力量の向上を図るために、全教職員を対象にした研修及び経験年数・職能に応じた13の研修を、夏季休業期間中を中心に、年間を通して行った。いくつかの研修においては、実践発表や協議、授業を通しての研修もあり、内容を深めることができた。	受講者の研修意欲を高めるために、内容の充実を図る。また、特別支援学級担任を対象にした研修会を計画していく必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○												
			○																		
		研究指定委嘱事業	小学校2校（菫島小・今元小）及び中学校1校（行橋中学校）の研究指定委嘱校の発表会があり、特に行橋中学校においては、教科・領域の授業が公開され、すばらしい研究発表が行われた。	小中一貫教育の視点を生かし、「コミュニケーション科」・「郷土科」の授業を取り入れた研究発表を今後関係学校に働きかけていきたい。	実現度↑ 4 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○												
			○																		

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価（外部評価委員）																									
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																										
1 学校教育における重点施策	（8）快適な教育環境をめざす教育施設の整備・充実 公立学校施設整備計画の推進 建物の構造耐力やトイレ、防水等の改修計画を推進し、建物の再生整備を行う。 また、学校施設に対する多様なニーズに対応するため、空調やバリアフリー等の計画推進を行う。	学校施設整備事業 トイレ整備については、第1期工事分の椿市小学校、稗田小学校の実施設計を行った。 屋上防水については、仲津小学校（校舎）、今元小学校（校舎・講堂）の実施設計を行うとともに、長峡中学校（講堂）の屋根防水工事を行った。 仲津中学校建替については、基本設計、耐力度調査並びに地質調査を実施した。 空調整備については、延永小学校、椿市小学校、行橋北小学校、長峡中学校の4校について、補正予算を計上し、実施設計を行った。 また、学校施設の修繕・工事については、危険な箇所から優先的に修繕・工事を行い、児童生徒の安全確保に努めた。	学校施設整備事業については、複数事業を平行して実施するため、学校生活に支障を来さないよう、事業の綿密な計画と安全管理が求められるとともに、空調やトイレ等児童・生徒の学習環境に直結する内容であるため、全体計画を精査し、可能な限り早期に実施する必要がある。	<table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> 実現度↑ →充実度	4					3				○	2					1						1	2	3	4	
	4																													
	3				○																									
2																														
1																														
	1	2	3	4																										
耐震化事業の推進	小・中学校耐震改修事業 耐震改修計画については、計画どおり耐震診断を行い、結果に応じて改修工事を行い、25年度末の耐震化率は、88%となった。 （平成25年度実施事業） ・行橋南小学校（校舎）耐震評価取得・実施設計 ・行橋南小学校（講堂）耐震化工事 ・椿市小学校（講堂）耐震化工事 ・行橋中学校耐震診断 ・中京中学校耐震診断 ・今元中学校耐震診断	今後も、計画どおり実施し、平成28年度までに耐震化事業を完了する予定である。	<table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> 実現度↑ →充実度	4				○	3					2					1						1	2	3	4		
4				○																										
3																														
2																														
1																														
	1	2	3	4																										
安心・安全でおいしい学校給食を安定的に供給する学校給食センターの建設推進	給食センター建設事業 計画どおり、平成24年度、25年度の2ヶ年計画（継続費）で、センターの建設を完了した。 平成24年度：建設工事着工（H24.12月） 平成25年度：建設工事竣工（H25.12月） 平成26年3月下旬には調理員等の研修を実施した。	今後は、防災食育センターでの運用面を強化し、学校給食の充実を図る。	<table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> 実現度↑ →充実度	4				○	3					2					1						1	2	3	4		
4				○																										
3																														
2																														
1																														
	1	2	3	4																										

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価（外部評価委員）																					
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																						
2 生涯学習における重点施策	(1) 情報化とライフスタイルに対応した生涯学習の推進	中央公民館を核とした市民大学講座等各種講座を通じた生涯学習事業の推進	公民館事業 <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館及び行橋駅分館の利用促進を図った。 利用実績（25年度） 中央公（延べ1857回 42341人） 駅分館（延べ2120回 28631人） 市民大学講座前期（歴史マン探訪・いきがい・まちづくり）と後期（男の美学女の美学講座・歴史マン探訪・健康ライフ）を企画募集し、市民の学びをサポートした。 市民大学講座の開催実績（25年度） 前期（歴史 65名・いきがい 33名）全8回 後期（男女美学 51名・歴史 60名・健康 38名）全8回 11校区それぞれの公民館で共通の講座を開催し、地域の学びの場をサポート。 校区公民館主催事業実績（25年度） 人権講座（48回 2540人） 子ども講座（131回 3277人）女性学級（101回 3149人） 	<ul style="list-style-type: none"> これまで生涯学習関連の講座等を受講した市民の知識や技能を生かすため、生涯学習推進計画に基づいてボランティア登録派遣事業を実施する。 地域へ情報を発信し、より多くの人たちの公民館活動に対する理解を図る。 	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1					
	4				○																					
	3																									
	2																									
1																										
	校区公民館を市民のふれあい交流の場として、子ども講座や女性学級等の活動の推進	校区公民館子ども講座 <ul style="list-style-type: none"> 学校週5日制を契機に、小・中学生を対象とし各校区公民館にて子ども講座を実施し、学習活動の支援を図っている。 11校区公民館子ども講座の事業実績（25年度） 行橋（6回・256名）行橋南（27回・301名） 行橋北（11回・394名）養島（25回・434名） 今元（8回・166名）仲津（6回・156名） 泉（9回・154名）今川（12回・833名） 稗田（11回・335名）延永（8回・157名） 椿市（8回・91名） 合計（131回・3277名） ※前年度比（全体） +34回 +782名 	<ul style="list-style-type: none"> 講座内容の充実を図り、今後も継続して子どもの体験や集団づくりを推進していきたい。 	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1					活動回数、参加者数をみても子ども講座が充実していると認められる。しかし、講座内容が充実し受講希望者が増えれば増えるほど、参加できない子どもが出てくる可能性もあるので、子どもたちが隔たりなく参加できるような工夫をしていただきたい。	
4				○																						
3																										
2																										
1																										
	地域情報の発信基地としての公民館活動の推進	公民館施設の計画的改修事業 <ul style="list-style-type: none"> 行橋市第5次総合計画実施計画を元に公民館等施設の改修工事を行った。 計画・実施した改修工事（25年度） 市研修センター浴槽改修工事 3602千円 南公民館他7館2階女子トイレ洋式化工事 2707千円 道場寺駅前改修建設工事 8057千円 機械設備工事 6523千円 松原改修建築工事 4725千円 中央公・空調機械工事 24668千円 電気設備工事 5979千円 合計 56261千円 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は公民館の老朽化に伴う大規模改修等を含む長寿命化計画を進めたい。 	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4					3				○	2					1						
4																										
3				○																						
2																										
1																										
	(2) 地域の教育力向上と次代を拓く青少年の育成	子ども会や各種団体を支援し、次代を担うリーダーの育成 行橋市インリーダー研修（行橋市子ども会育成連合会） <ul style="list-style-type: none"> 市内の子ども会相互の連絡・調整と充実・発展を図り、地域の理解と協力、活発な活動を展開することで、心身ともに健全な子どもを育成する。次代を担うリーダーを養成するため、各単位子ども会より子どもを集め研修を行った。 行橋市インリーダー研修事業実績（25年度） 前期 6/29-30 16名 後期 1/25-26 17名 	<ul style="list-style-type: none"> 単位子ども会の児童数減少が続いているので、家庭・学校・地域に子ども会運営の共同化、ボランティアの活用等加入促進策を示し、新規加入を進めたい。 	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4					3			○		2					1					全国的に地域コミュニティが脆弱化し、地域の繋がりが希薄になっているなかで、子ども会加入率を上げることは非常に困難である。地域の祭りやイベントを契機として子ども会に参加してもらったりするなどの施策を検討することも重要であると考えます。	
4																										
3			○																							
2																										
1																										

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																	
2 生涯学習における重点施策	(2) 地域の教育力向上と次代を拓く青少年の育成	青少年育成市民会議を核に関係団体との連携で、青少年の健全育成	行橋市青少年育成市民会議活動 ・青少年自らが生きがいを持ち、自立心を養い自己の確立をめざすよう努力するとともに、市民すべてが地域ぐるみで青少年の健全育成運動に参加しバックアップした。行橋市青少年育成市民会議が年間を通じて行った活動は、各種補導や声かけ運動、啓発グッズの配布などがあり、また強調月間等を活用して啓発運動を実施した。 行橋市青少年育成市民会議の事業実績（25年度） 会議・大会等（18回・963名） 街頭補導（JR行橋駅周辺 31回・大型店ゲームセンター 11回） 夜間補導（行橋署合同11回・補導員のみ10回・祭り 2回） 声かけ運動（5回） 乗車マナー向上の呼びかけ（行橋駅8回・3駅合同 3回） 強調月間時の啓発活動（7月：推進大会・パレード・弁論大会 11月：キャンペーン）	・青少年育成関係団体と街頭補導員との連携を図っているが、よりいっそう家庭と地域、学校とともに一体となって運動に取り組む必要がある。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○												
				○																	
	少年の船等、青少年の学校外活動の推進	「少年の船」行橋市青少年派遣事業 ・地域の小中学生を対象に、平和学習や参観活動、船内研修を通じて協調性やリーダーシップを育むための派遣事業を行った。 行橋少年の船事業実績（25年度） 参加団員（行橋市・28名） 事前研修（3回）：1日研修2回 宿泊研修1回 沖縄本研修：8月23～28日（5泊6日） 事後報告会：9月15日（中央公）保護者向け 事後研修（2回）：1日研修1回 宿泊研修1回	・若者のボランティアによる運営を続けているが、行政としてスタッフの育成が必要である。 ・団員の健全育成とともに、ボランティアスタッフの成長も大きな目標の一つであり、事業の魅力を高めるための見直しを検討したい。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度				○													
			○																		
	(3) 市民参加による人権教育の充実	人権講座の開催による人権意識の高揚	校区人権講座及び人権を考える市民の集い事業 ・11校区それぞれの公民館で人権講座を開催、また年2回人権男女共同参画課と人権を考える市民の集いを共催し、市民参加による人権教育の充実、人権意識の高揚を図った。 校区公民館人権講座の事業実績（25年度） 延べ回数 48回 参加者数 2540人 人権を考える市民の集い 事業実績（25年度） 7月 ちひろコンサート 250名（コスイト） 12月 柳田邦男 講演会 400名（コスイト）	・人権男女共同参画課との連携を図り、校区民への広報宣伝を行いながら、受講生の拡大を図る。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○													
		○																			
	(4) 地域スポーツへの参加による健康、生きがいづくりの推進	体育、スポーツ、レクリエーション活動の普及・振興、明るく豊かな地域社会づくり	行橋市体育協会と連携した各種競技大会の開催 ・行橋市教育委員会主催の市長杯（旗）争奪スポーツ大会を行い、青少年の体力増進、健全育成、競技の普及推進を図った。 主な教育委員会主催スポーツ大会（25年度） 美夜古カップ中学生サッカー大会 15チーム 300人 市長旗少年柔道大会 70チーム 390人 市長杯ソフトテニス大会 24チーム 240人 市長杯高校野球大会 6校 130人 市長旗中学生剣道大会 97校 840人 ・東九州自動車道の開通を記念したマラソン大会を実施し、市内外に高速道路開通を周知した。 東九州自動車道開通記念マラソン 2500人参加	・各競技とも参加校が拡大、山口や大分など隣県からも多く出場しており、市内の小中高校生の競技力向上が期待できるが、今後も規模拡大により大会運営や準備に多くのスタッフが必要であり、協力体制の充実を図りたい。	実現度↑ 4 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 1 →充実度			○													
		○																			

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価（外部評価委員）																										
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																											
2 生涯学習における重点施策	(4) 地域スポーツへの参加による健康、生きがいづくりの推進	スポーツの楽しさ・喜びを味わう「スポーツフェスタ in ゆくはし」の開催	<p>・市民体育祭に代わる市民参加型スポーツ大会としてはじめて、スポーツフェスタ in ゆくはしは、競技種目をローテーションで回しながら、同時にニュースポーツの推進を図ってきた。</p> <p>スポーツフェスタ in ゆくはし 事業実績（25年度）</p> <p>実施種目ごとの参加者</p> <p>ニューSP（バスケットボールなど） 70名</p> <p>剣道 150名</p> <p>ソフトバレーボール 170名</p> <p>硬式テニス 70名</p> <p>軟式野球 100名</p> <p>弓道 50名</p>	<p>・競技種目によって参加者数にばらつきがある。ニュースポーツの推進において子どもの参加増を図るとともに、今後は普及活動に力を入れたい。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4			○		3					2					1						1	2	3	4	
	4			○																											
3																															
2																															
1																															
	1	2	3	4																											
	幼児から高齢者まで、安全で利用しやすい体育施設の整備	<p>体育施設の整備事業</p> <p>・利用者すべてが安全に利用しやすい施設とするために、行橋市第5次総合計画実施計画を元に、体育施設の改修工事等を行った。また、行橋総合公園内の体育施設（体育館・武道館・庭球場・弓道場）の施設整備計画（長寿命化計画）を26年3月に策定した。</p> <p>計画・実施した改修工事（25年度）</p> <p>行橋庭球場人工芝張替え工事 42295千円</p> <p>〃 側壁塗り替え工事 3203千円</p> <p>泉SP広場 日よけ増設工事 389千円</p>	<p>・今後は総合公園以外の体育施設の施設整備計画を進めたい。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4					3				○	2					1						1	2	3	4		
4																															
3				○																											
2																															
1																															
	1	2	3	4																											

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																				
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																					
3 文化における重点施策	(1) 市民に親しまれる新しい文化の創造	市民に親しまれる市民文化祭及び校区文化祭の開催	文化活動支援事業 第43回行橋市民文化祭をコスメイト行橋、市民会館、中央公民館、商工会議所で開催。神楽部門が新たに加わり、計21部門が作品展示、ステージ発表などを行い3,275人の参加を得て、入場者は6,602人であった。 また、校区文化祭は引き続き11校区全ての校区で開催し、文化活動を通じた地域づくりに寄与することができた。	市民文化祭の参加者は高齢者が多くを占めているため、若年層の参加を促していきたい。 プログラムやオープニングセレモニーに新機軸を打ちだし魅力ある市民文化祭を演出することで入場者の増加を図りたい。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4			○		3					2					1				
	4			○																					
	3																								
	2																								
1																									
	文化施設の整備と利用促進	文化施設整備事業	建設20年以上を経過した複合文化施設コスメイト行橋の冷温水機の整備や文化ホールの照明設備の更新を行い、計画的に施設の改修を実施できた。 また指定管理者である(公財)行橋市文化振興公社と運営及び利用促進について随時協議を行った。施設の利用者数は331,159人であった。	コスメイト行橋の施設の老朽化に伴う修繕や改修は、より長期的な計画の策定が必要である。 自主事業の充実させることで利用者の増加を図りたい。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1				
4				○																					
3																									
2																									
1																									
	図書館を核とした読書活動の推進と学校図書館との連携	読書活動推進事業	平成23年度から開始した乳幼児を対象としたブックスタート事業を継続して実施。毎月ウィズゆくはしで行われている4ヵ月児健診を利用し、ボランティアによる絵本の読み聞かせと絵本の手渡しを行った。絵本の配布人数は632名で、対象総数661名に対して約96%の達成率となった。 他に行橋市図書館事業として、読み聞かせ講座や読書会、作家講演会の開催、小学生読書リーダー養成講座などを行った。	市の読書ボランティア団体の活用を図り、市民の読書活動の支援体制を充実していきたい。 また、アンケートを実施するなど利用者のニーズの把握に努めたい。 家（うち）読りレーを開催し家庭における読書活動の推進を図る。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4				○	3					2					1				
4				○																					
3																									
2																									
1																									
	(2) 歴史や文化財を活かしたまちづくり	歴史や文化とふれあう史跡の整備・活用	史跡整備事業 市指定史跡守田蓑洲旧居の外構整備を実施し、来訪者が行橋市の歴史にふれあう場として公開することができるようになった。 御所ヶ谷神籠石は東門北側の調査と報告書作成を行い整備や保存に向けてのデータを蓄積することができた。 「歴史の里・延永マップ」「村上仏山と定村直栄」「馬ヶ岳城跡」に関する説明板や神楽（道場寺、稲童）の説明板など計8件を設置し、市民や来訪者の史跡見学の利便性の向上を図った。 九州最大級の古代の役所跡である福原長者原遺跡の発掘調査を行い中心建物である正殿跡を確認した。	守田蓑洲旧居は25年度で整備工事が完了し、26年度から一般公開が始まるため活用方法やPRについて検討が必要である。 福原長者原遺跡の保存と活用について検討を進める。	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 1 2 3 4 →充実度	4			○		3					2					1				
4			○																						
3																									
2																									
1																									

行橋市教育委員会の自己点検・評価及び外部評価シートⅢ

Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

評価項目		点検・評価（教育委員会）			点検・評価 （外部評価委員）																					
項目	関係事業名	事業の成果及び内容（成果指標）	今後の課題及び必要な取組	実現度・充実度																						
(2) 歴史や文化財を活かしたまちづくり	歴史・文化への関心を高めるための情報発信と普及活動	文化遺産の公開普及事業	<p>行橋市歴史資料館で特別展「秀吉・黒田官兵衛見参ー馬ヶ岳城の世界ー」（平成26年1月～12月開催のうち1月～3月の入館者6676名）、企画展「見えてきた豊前の国府」（入館者2165名）、「在郷町を彩った人々」（入館者3709名）を開催し、計12550名の市民が観覧し、本市歴史と文化に対する認識を深めてもらうことができた。</p> <p>子どもたちが地域の歴史や文化を学ぶ素材として「ゆくはし歴史ガイドブック」を作成した。</p> <p>馬ヶ岳城跡及び入覚念仏楽を市の文化財に指定し周知を図ることができた。</p>	<p>テレビ放映で注目された黒田官兵衛を取り上げたことで入館者数の増加に繋がった。今後も市民ニーズに対応できるように取り組みたい。</p> <p>「ゆくはし歴史ガイドブック」を郷土科の授業に活用し子どもたちの歴史への関心を高める。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1					<p>歴史資料館における特別展、企画展には多くの観覧者が訪れており、市民ニーズに対応した展示会が開催されていると言える。今回はテレビ放映という絶好の時機を捉えて来訪者が増加したが、今後も人々のニーズを的確に捉えて、引き続き文化遺産の公開普及に努力していただきたい。</p>
4				○																						
3																										
2																										
1																										
(3) 市民が誇りを持つ伝統文化の継承と普及	今井祇園や連歌、下検地楽や神楽等の本市に伝わる伝統文化の保存・継承	伝統文化継承事業	<p>行橋連歌大会を継続して開催し連歌の継承と普及を図った。25年度の参加者は、他の行事と重なったため60名で24年度の参加者75名より減少した。</p> <p>また、連歌の初心者向けの冊子を作成し、市内外で広く普及活動ができるようになった。</p> <p>今元小学校、中学校で連歌教室を行い小、中学生に連歌に親しんでもらうことができた。</p> <p>神楽は市内の4団体が文化協会に加入し、市民文化祭で公演をすることで、神楽の普及、定着を図ることができた。</p>	<p>伝統文化を継承・発展させるためには、継続して事業を実施する必要がある。</p>	<p>実現度↑</p> <table border="1"> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>→充実度</p>	4				○	3					2					1					
4				○																						
3																										
2																										
1																										

行橋市教育委員会外部評価委員会の意見

行橋市教育委員会評価について外部評価委員会として次のように所見を述べさせていただきます。

行橋市教育委員会外部評価委員会

会 長 永添 祥多

委 員 山縣 宏美

委 員 春田 邦子

1 評価シート等について

昨年度、評価項目の統合・重点化が図られ、評価項目の再構築が行われたが、本年度においてもそれを継承し、同一の評価項目としたことで経年比較が容易になっている。

また、昨年度の評価から「今後の課題及び必要な取組」の欄が新たに設けられた。これにより、どのような理由で「実現度」「充実度」の4段階評価を自己評価したのか分かりやすくなったところであるが、一部の評価項目において、今後の課題と自己評価が連動していないように思われる項目が見受けられた。

広く一般市民に分かりやすい評価を行うためには、評価シートの体裁のみならず、記載する内容と評価の整合性にも十分な配慮を心掛けていただきたい。

2 教育委員会の活動

教育委員会会議の中で、各委員が出席した行事等について報告し、情報の共有がよく図られている。会議で出された意見等の活用を図るため、学校行事等に関

しては、どのような報告、意見がなされたのか学校にフィードバックすることによって、今後の行事運営の改善に繋げるような方策を検討していただきたい。

教育委員会会議の公開については、開催日程及び会議録の概要をホームページで公開している。平成26年度予算に会議録データ作成の委託費を計上しており、会議録の充実へ向けての取組みがなされたことは評価でき、市民に対する説明責任の向上が期待されるところである。

3 教育施策の推進状況と展望

(1) 学校教育における重点施策

① 保・幼・小・中連絡協議会

平成25年度は前年度に実施できなかった教育委員会主催による保・幼・小連絡協議会が実施できている。小学校単位での「保幼小連絡会」、中学校単位での「小中連絡会」の実施と併せて、それぞれの発達段階に応じた情報交換等の協議が充実してきており、子どもたちのスムーズな就学への取組みが精力的に実践できていると思われる。今後は、保・幼・小連絡協議会の開催回数を増やすことも視野に入れて、更なる保・幼・小並びに小・中の連携の充実に努力していただきたい。

② 読書活動の推進

平成21年度からスタートした第1次子ども読書活動推進計画の計画期間が終了したことに伴い、平成26年3月に第2次子ども読書活動推進計画が策定されている。第1次計画により子どもたちの読書が推進できた反面、本を読む者と読まない者の二極化が進行したということであるが、残された課題をしっかりと踏ま

え、第2次では幼少期から読書に親しむような取組みが計画に謳われており、また、公立図書館と学校図書館との連携に関する取組みも盛り込まれているとのことである。これらの取組みを具現化し、計画を着実に推進していただきたい。

③ アシスタント・ティーチャー配置事業

発達障害と思われる児童生徒が年々増加しているなか、小中学校に配置されたアシスタント・ティーチャーは前年度に比べ若干名減少している。財政的な面からもアシスタント・ティーチャーの増員は容易ではないと思われるが、十分な成果を出せる必要数を把握し、配置できるよう検討していただきたい。

(2) 生涯学習における重点施策について

① 校区公民館子ども講座

活動回数、参加者数をみても子ども講座が充実し、体験学習や集団行動を通して子どもたちの学習活動の推進や生きる力の育成に寄与していることが認められる。しかし、講座内容が充実し受講希望者が増えれば増えるほど、参加できない子どもが出てくる可能性もあるので、子どもたちが隔たりなく参加できるような工夫を検討していただきたい。

② 行橋市インリーダー研修（行橋市子ども会育成連合会）

子ども会に加入する児童数が減少しているということであるが、全国的に地域コミュニティが脆弱化し、地域の繋がりが希薄になっているなかで、子ども会加入率を上げることは非常に困難であると思われる。例えば地域の祭りやイベントに参加することを契機として子ども会に参加してもらったり、地域コミュニティ自体を活性化するような取組みを行ったりすることで、結果として子ども会加入

率を上げるといった施策を検討することも重要であると考えている。

(3) 文化における重点施策について

① 文化遺産の公開普及事業

歴史資料館における特別展、企画展には多くの観覧者が訪れており、市民ニーズに対応した展示会が開催されていると言える。特にテレビ放映の主人公黒田官兵衛を題材とすることで入館者数の増加に繋がっている。さらに官兵衛が九州で最初に居城とした馬ヶ岳城を市の文化財に指定し広くPRすることで、観光客の増加も図られている。

今回はテレビ放映という絶好の時機を捉えて来訪者が増加したが、今後も人々のニーズを的確に捉えて、引き続き文化遺産の公開普及に努力していただきたい。

4 教育委員会点検・評価に関する全体意見

一部の事業においては、社会情勢上あるいは財政上の問題から課題解決が非常に難しい事業もあり、十分に「実現度」や「充実度」が上がっていないものがある。とは言え、いずれの事業も達成率は50%以上あり、外部評価委員会としてもこの自己評価には異論のないところである。また、昨年度の評価において実施できていなかったこと、明らかになった課題を教育委員会でしっかりと認識し、課題解決に向けた取組みが各分野でなされていることが伺え、教育委員会事務局の努力に敬意を表するものである。

非常に困難な課題もあるが、引き続き鋭意努力され、本市の教育行政が更に充実したものとなるよう期待したい。

平成26年度 評価経過

年月日	内容	備考
平成 26 年 7 月 7 日 (月)	第1回教育委員会評価検討委員会 内容：1. 経過（前年度評価の状況）について 2. 本年度点検・評価の方法について 3. 今後の資料作成について 4. その他について	
平成 26 年 7 月 18 日 (木)	第2回教育委員会評価検討委員会 内容：1. 点検・評価の内容について 2. その他について	
平成 26 年 7 月 22 日 (火)	第3回教育委員会評価検討委員会 内容：1. 点検・評価の内容について 2. その他について	
平成 26 年 7 月 24 日 (木)	第8回定例教育委員会開催 内容：行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価行橋市教育委員会の教育に関する事務の点検・評価の外部評価（案）について	
平成 26 年 7 月 28 日 (月)	平成26年度第1回外部評価委員会開催	
平成 26 年 8 月 28 日 (木)	第9回定例教育委員会 内容：行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価行橋市教育委員会の教育に関する事務の点検・評価の外部評価結果及び議会提出について	
平成 26 年 9 月 2 日 (火)	行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書の議会提出	

行橋市教育委員会外部評価委員名簿

平成26年7月28日現在

氏名	任期	学識経験等の状況	備考
永添 祥多	平成24年8月19日～平成26年8月18日	近畿大学（産業理工学部経営ビジネス学科）教授	会長
山縣 宏美	平成24年8月19日～平成26年8月18日	西日本工業大学（デザイン学部建築学科）准教授	
春田 邦子	平成26年7月28日～平成26年8月18日	教職員経験者（小学校長経験者）	

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

発令：昭和31年6月30日法律第162号

最終改正：平成19年6月27日法律第98号

改正内容：平成19年6月27日法律第98号（平成14年法律第63号への改正）〔平成20年4月1日〕

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施に
関する規則

平成20年12月22日教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第27条の規定に基づき、行橋市教育委員会が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「教育委員会評価」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

(教育委員会評価の対象及び時期)

第2条 点検及び評価の対象は、法第23条各号に掲げる事務及び教育施策上の重要課題とする。

2 点検及び評価は、毎年、前年度の前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第3条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に定める事務局をいう。以下同じ。）は、前条第1項に規定する事項について、必要な資料を整理する。

(教育委員会評価検討委員会等)

第4条 教育委員会評価を円滑に行うため、事務局の中から次の者をもって組織する委員会（以下「教育委員会評価検討委員会」という。）を設ける。

教育長、教育部長、学校教育課長、指導室長、生涯学習課長、文化課長

2 前項の教育委員会評価検討委員会は、次に掲げる事務を所管する。

- (1) 教育委員会評価に係る調査及び研究に関すること。
- (2) 教育委員会評価の構築、見直しに関すること。
- (3) 教育委員会の自己評価の実施に関すること。

3 教育委員会評価検討委員会は、教育長が招集し、教育部長が議長となる。

4 教育長は、必要に応じて教育部職員及び教育部職員以外の者、または、第7条第2項の規定により任命された外部評価委員会委員を教育委員会評価検討委員会に出席させ、第2項の事務に関する意見等を求めることができる。

5 教育委員会評価検討委員会は、第2項第3号で実施した自己評価の内容を教育委員会へ提示する。

(外部評価の実施)

第5条 教育委員会は、前条の規定により提示された自己評価について、内容を精査し、次条に規定する外部評価委員会へ提示し、意見の聴取を行うものとする。

(外部評価委員会等)

第6条 教育委員会は、教育委員会評価を行うため、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価委員会（以下「外部評価委員会」という。）を設置する。

- 2 外部評価委員会委員は、法第27条第2項の規定により学識経験者から教育委員会が任命する。
- 3 外部評価委員会は、教育委員会が提示する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行う。

(議会報告等)

第7条 教育委員会は、外部評価委員会の検討結果を踏まえ、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを行橋市議会に提出するとともに、公表する。

- 2 公表の方法は、行橋市ホームページ及び情報コーナーとする。

(庶務)

第8条 教育委員会評価の実施に関する庶務は、学校教育課において行う。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条第2項の規定は、平成21年4月1日から施行する。

行橋市教育委員会外部評価委員会の設置に関する規則

平成20年12月22日教育委員会規則第7号

(趣旨)

第1条 この規則は、行橋市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する規則（平成20年12月22日行橋市教育委員会規則第6号。以下「点検・評価規則」という。）に規定する外部評価委員会の設置に関し必要な事項を定めるものとする。

(外部評価の目的)

第2条 外部評価は、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、外部の学識経験者による知見を活用し、毎年、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために実施する。

(外部評価の対象)

第3条 外部評価の対象は、点検・評価規則第4条第5項に基づき教育委員会評価検討委員会が教育委員会で実施する施策評価、事務事業評価等とする。

- 2 外部評価委員会は、教育等に関して学識経験を有する者3人以内をもって組織する。ただし、うち1人は、保護者又は市民とする。
- 3 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任することができる。

(組織)

第4条 外部評価委員会に会長を置き、会長は、委員の互選により定める。

- 2 会長は、委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 会長に事故あるときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。
- 4 会長の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

(会議)

第5条 外部評価委員会は、点検・評価規則第5条の規定により教育委員会から自己評価の提示があった場合、会議を開催し、外部評価を行うものとする。

(意見等の聴取)

第6条 外部評価委員会は、必要があると認めたときは、委員以外の者を会議に出席させて意見又は説明を聞くことができる。

(外部評価結果の報告)

第7条 外部評価委員会は、外部評価が終了したときは、その結果を教育委員会に報告しなければならない。

2 外部評価委員会は、報告に際して、意見を提案することができる。

(報告結果の利用等)

第8条 教育委員会は、前条第1項の報告があったときは、教育委員会の会議その他の会議でその内容を周知するものとする。また、前条第2項の規定による提案があったときは、これを尊重するものとする。

(外部評価結果の公表)

第9条 外部評価結果については、市議会に提出するとともに、公表するものとする。

(外部評価委員会の庶務)

第10条 外部評価委員会に関する庶務は、教育委員会教育部学校教育課で行う。

(報酬)

第11条 委員の報酬は、行橋市特別職の職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和60年条例第4号）に定めるところにより支給する。

(委任)

第12条 この規則に定めるもののほか、外部評価の実施に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成22年4月28日教委規則第3号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年12月20日教委規則第8号）

この規則は、公布の日から施行する。